

平成30年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒斑病

平成30年12月18日

鳥取県病害虫防除所

表 ナシ黒斑病の越冬菌密度調査(平成30年)

市 町	短果枝の病芽率 (%)			一年生枝上の枝病斑数 (個/枝)			病 枝 率 (%)		
	本 年	前 年	平年 ¹⁾	本 年	前 年	平年 ¹⁾	本 年	前 年	平年 ¹⁾
鳥取市 1	3.3	0	2.0 ²⁾	0.3	0.3	0.1 ²⁾	13.3	26.7	8.4 ²⁾
鳥取市 2	4.9	0	0.8	0.6	0.5	0.1	25.0	40.0	7.7
鳥取市 3	1.7	6.5	7.2	1.6	0.8	1.1	73.3	40.0	45.3
八頭町	8.1	4.8	3.4	0	0.1	0.0	0	6.7	1.9
湯梨浜町 1	1.7	0	2.1	0	0	0.0	0	0	1.3
湯梨浜町 2	0	0	0.3	0	0	0.1	0	0	2.7
倉吉市	0	0	1.8	0	0	0.0	0	0	4.0
北栄町	0	0	2.5	0	0.3	0.3	0	6.7	16.9
琴浦町	0	1.6	1.0	0	0.4	0.1	0	31.3	5.3
大山町 1	1.7	0	0.3	0	0	0.0	0	0	2.3
大山町 2	1.7	0	1.7	0	0.1	0.0	0	6.7	1.3
南部町	0	0	0.2	0	0	0.0	0	0	1.8
平 均	1.9	1.1	1.9	0.2	0.2	0.2	9.3	13.2	8.2

1) 平年…平成21年～平成30年の10年間の平均値

2) 過去7年間の平均値

- ・ 1 ほ場当たり60短果枝及び15新梢を調査。
- ・ 短果枝及び新梢は、11月29、30日に採取。

<要約>

11月下旬に行ったナシ黒斑病の越冬菌密度調査の結果、一部で密度の高い園が認められた。部位別調査によると、短果枝の病芽率および一年枝の病枝率は平年並であり、一年枝上の枝病斑数は平年並～平年に比べてやや多かった。

<対策>

黒斑病の越冬伝染源を減らすため、枝病斑削り取り後のトップジンMペースト等の塗布剤による保護、病芽の剪除を徹底する。また、除いた罹病部位は園外で処分する。